

令和 5 年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」  
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立桜宮幼稚園

令和 6 年 3 月

1 幼稚園運営の中期目標

**現状と課題**

- いつ起こるか分からない地震や津波、火災などを想定した防災訓練に加えて、昨今の社会情勢から不審者等による事件発生時の対応についても、訓練の必要性を感じ、取り組んでいる。
- 感染症対策の制限がなくなりつつあるので、地域や保護者と連携した避難訓練や防犯訓練に少しずつ、取り組んでいく。また、自転車の事故や子どもが巻き込まれ交通事故などが増えてきている。子ども自身が交通ルールを守って行動できるような指導に努める。
- 安全面に配慮し、廊下の移動は歩いて行うことや、階段の安全な上り下りの仕方などに気を付けられるような指導を行う。また、全ての子どもたちに分かりやすい伝え方を工夫し、子どもが幼稚園に安心して登園できるように努める。
- 集団生活を通して、友達の良さを知ったり、自分の良さを知ってもらったりして共に学びあえるようにしたい。そのために、全教職員で幼児の実態を共有し、個にあった支援方法の工夫に努める。
- 生涯にわたる人格形成の基礎となる幼児期に様々な経験をし、豊かな心情を育み、自ら考えたり、工夫したりし、友達と共に遊び込みながら育ち合えるように、環境構成や保育を工夫し、教育内容の充実に努める。
- 登園時間が遅くなったり朝食を食べずに登園したりして十分な活動ができない子どもがいる。健康に園生活を送るためにも基本的な生活習慣の獲得が大切である。保護者啓発をするとともに、子どもが自分自身の体に関心がもてるような指導を発達に応じて行う。
- 昨年度移動させた絵本コーナーを活用して、いろいろな絵本に興味をもてるように環境を見直していく。また、保護者と一緒に絵本を楽しめる絵本タイムを実施し、おはなしの楽しさを感じ、親しめるようにしていく。

**中期目標**

**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。
  - ・「幼稚園は子どもが園内で安全に過ごせる環境や援助の在り方を工夫している」
- 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。
  - ・「幼稚園はお互いの良さを認め合える保育をしている」
  - ・「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。
  - ・「子どもはいろいろな遊びに興味や関心をもち、進んで遊ぶようになりましたか」
- 令和7年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。
  - ・「子どもは基本的な生活習慣が身に付いてきていますか」
  - ・「幼稚園は子どもの実態に応じた保健指導を実施している」

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 令和7年度の保護者アンケートの次の各項目において肯定的な回答をする割合を85%以上にする。
  - ・「子どもは絵本やおはなしに親しむようになりましたか」
  - ・「幼稚園は絵本やおはなしに親しむ環境や指導方法を工夫していますか」

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 学校園の年度目標

- ①令和5年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を75%以上にする。
  - ・「幼稚園は子どもが園内で安全に過ごせる環境や援助の在り方を工夫している」
- ②令和5年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を75%以上にする。
  - ・「幼稚園はお互いの良さを認め合える保育をしている」
  - ・「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 学校園の年度目標

- ①令和5年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を75%以上にする。
  - ・「子どもはいろいろな遊びに興味や関心をもち、進んで遊ぶようになりましたか」
- ②令和5年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を75%以上にする。
  - ・「子どもは基本的生活習慣を身に付けてきていますか」
  - ・「幼稚園は子どもの実態に応じた保健指導を実施している」

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 学校園の年度目標

- ①令和5年度末の保護者アンケートの次の各項目において肯定的な回答をする割合を75%以上にする。
  - ・「子どもは絵本やおはなしに親しむようになりましたか」
  - ・「幼稚園は絵本やおはなしに親しむ環境や指導方法を工夫している」

## 3 本年度の自己評価結果の総括

- ・年度当初に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、行事がほぼコロナ禍前に戻り元の生活になった。
- ・保護者アンケートの結果ではすべての項目で年度目標を上回る結果を得ることができた。
- ・11月の100周年記念事業に向けて、昨年から準備を進め、5月の参観を利用して外壁画を描いたり夏祭りのコーナー遊びで横断幕を作ったりして保護者も一緒に子供と楽しめる企画をした。運動会ではお祝いの意味を込めて親子競技でケーキ作り競争を取り入れ、展覧会は式典と抱き合わせで実施し、子供の絵画や作品と一緒に親子製作作品や過去のアルバムの展示なども行い100年を振り返り、地域・保護者も一緒にお祝いすることができた。
- ・子どもたちが安全安心に生活し、学びや協同性につながるような遊びや行事ができるように各取り組み内容に沿って計画的に取り組むことができた。
- ・次年度も教職員としっかり連携し幼児理解、適切な支援ができるような取り組みを工夫し幼児の豊かな育ちにつながるようにしたい。

## 大阪市立桜宮幼稚園 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【安全・安心な教育の推進】</b> <b>幼稚園の年度目標</b> ①令和 5 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を 75%以上にする。 ・「幼稚園は子どもが園内で安全に過ごせる環境や援助の在り方を工夫している」 ②令和 5 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を 75%以上にする。 ・「幼稚園はお互いの良さを認め合える保育をしている」 ・「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 1 安心安全な教育環境の実現】 子どもが安全に過ごせる環境や援助の在り方を工夫する。		A
指標 ・月 1 回以上、非常時の行動の仕方や安全な遊具や用具の使い方などについて指導する。 ・年に 2 回以上、園児と保護者に安全指導を実施し、保護者にも啓発をする。 ・全教職員で園内の環境を見直す機会を月 1 回以上もつ。		
取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】 幼児一人一人を大切に「共に学び」「共に育ち」「共に生きる」教育を推進する。		A
指標 ・園内委員会を年に 3 回以上実施し、個々の子どもの実態や興味・関心を共有し、個に合った支援の仕方を工夫する。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
○保護者アンケート		
①「幼稚園は子どもが園内で安全に過ごせる環境や援助の在り方を工夫していると感じますか」の項目で肯定的な回答をする割合は 8 2 %で目標を上回った。		
②「幼稚園はお互いの良さを認め合える保育をしている」「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」の各項目で肯定的な回答をする割合が 9 6 %、9 8 %で目標を上回った。		
取組内容①		
・月に 1 回様々な想定で避難訓練を続けてきたので火事や地震、不審者が来た時の避難の仕方を知り、放送が聞こえると耳を傾け主体的に行動できるようになってきた。		
・1 月の地震・津波の避難訓練では、桜宮小学校に避難した。6 年生が手をつないで 3 階の避難場所まで連れて行ってくれ、緊張感をもちながらも安心して訓練することができた。		
・5 歳児が都島自動車学校で交通安全指導を受けた。 本物の車やバイクを使っでの指導だったので緊張感をもって参加することができ、交通安全に対する意識を高めることができた。		

- ・ 1 学期末、2 学期末の終業式に教員の劇で生活安全、防犯についての指導をした。  
劇で知らせたことで理解しやすく興味をもって自分の身を守ることを知り、保護者への啓発にもなった。
- ・ 今年度は工事が多く、園庭に車が入ったり工事の方が出入りしたりすることが多かったが子どもたちがどこで遊んでいるかを全教職員で把握し、連携して見守ることで安全に遊ぶことができた。
- ・ 遊びの環境について話し合い、月 1 回安全面について確認している。
  - 4 月…廊下や室内を走るることによる衝突を防ぐために、廊下や室内での過ごし方を知らせたり確認したりした。
  - 5 月…雲梯や上り棒の下のマットの土を払い、転んでもケガをしにくいようにした。
  - 6 月…水遊びがしやすく、ほかの遊びとぶつかり合わないように場を整え、ラックやかごに写真をつけて道具を整理整頓しやすいようにした。
  - 7 月…プールに入るときに裸足で廊下を通るので滑ったり物にぶつかったりしないように足ふきマットを廊下に敷き、廊下を広く使えるようにした。
- 8. 9 月…園庭や隣接する公園の石や枝を拾ったり、雑草を抜いたりして、ケガをしにくく伸び伸びと遊べるようにした。
- 10. 11 月…園外保育前に異年齢で手をつないで安全な道路の歩き方や階段の昇降の仕方を知らせた。ハサミやテープを使う機会が増えるので安全な使い方を再確認した。
- 1 2 月…大掃除をし、砂場の遊具を洗って土を落としたり、園庭、砂場の落ち葉を拾ったりして、安全に遊ぶことができるようにした。
  - 1 月…都島区民センターで行われた母と子の交通安全教室に参加し、交通安全指導や防犯指導を受けた。
  - 2 月…大阪クリーンアップ作戦に参加し、保護者と一緒に隣接する公園のごみを拾いや、落ち葉を集めをし、安全に遊べるようにした。

#### 取組内容②

- ・ 4 月、8 月、12 月に園内委員会を実施し、それぞれの子どもの特長や様子、具体的な支援方法について教職員で話し合って共通理解し、一人一人に寄り添うようにした。
- ・ 9 月に大阪市教育委員会の巡回指導を実施し、一人一人の実態に応じた具体的な対応や関わり方を教えていただき保育に生かすことができるようになった。
- ・ おもちゃの写真を掲示し片付けやすくする、朝の準備を写真やイラストで掲示する、気持ちを絵カードを使って表現するなど、一人一人の状況に応じた支援を工夫した。
- ・ 友達の気持ちを理解しにくい、自分の気持ちを表現しにくい子どもは教師が仲立ちして相手の気持ちを伝え、自分の気持ちも少しずつ相手に伝える手助けをした。現在は友達と一緒に活動する楽しさを感じることができるようになってきている。
- ・ 保護者の思いを受け止めながら、教師の願いや具体的な支援方法を保護者に伝えて共通理解を図り、継続的に連携して子どもの成長に繋がった。
- ・ 療育施設の職員に訪問してもらい、幼稚園での姿を見て支援の方法を教わり、幼稚園と療育施設で同じように支援できる方法を共有する機会を何度も設けた。  
また、療育施設・保護者・幼稚園の連携で保護者によくわかる絵カードを作成してもらったり、大好きな遊具をうまく活用したりするなど、個性を活かしそれぞれが楽しく行事や遊びに参加できるようにした。

- ・ 100 周年記念式典や生活発表会でどうすれば安心して参加できるか当日の教員配置や支援方法をよく話し合い、保護者にも伝えて当日に臨んだ。
- ・ 学級懇談会では保護者同士で全ての子どもの個性を認め合い、和やかな雰囲気でも話し合うことができた。
- ・ お互いの良さを認め合える保育について、保護者に活動内容を知らせるだけでなく、子ども同士のやりとりや教師の関わり方などを具体的に知らせる工夫をした。

#### 次年度への改善点

##### 取組内容①

- ・引き続き子どもや保護者への啓発を続けると同時に、教職員で遊びの安全な環境について話し合い改善していく。

##### 取組内容②

- ・引き続き教職員がよく話し合い連携して、子ども一人一人の状況や個性に応じた支援のあり方を関係諸機関や保護者と連携して考える。

大阪市立桜宮幼稚園 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> <b>幼稚園の年度目標</b> ①令和5年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を75%以上にする。 ・「子どもはいろいろな遊びに興味や関心をもち、進んで遊ぶようになりましたか」 ②令和5年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を75%以上にする。 ・「子どもは基本的生活習慣が身に付いてきていますか」 ・「幼稚園は子どもの実態に応じた保健指導を実施している」	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】 就学前教育カリキュラムを活用し、主体的に遊ぶ子どもを育てる工夫をする。 指標 ・就学前教育カリキュラムを活用しながら、子どもが主体的に遊んでいる姿を記録し、年4回以上、教職員で検討会を行う。 ・就学前教育カリキュラムに基づいた教師の援助や子どもの育ちなどを保護者に分かりやすく伝える機会を学期に3回以上もつ。	A
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 規則正しい生活が身に付くように、子どもの発達段階に応じた保健指導を行う。 指標 ・丈夫な身体づくりや規則正しい生活習慣が身に付く保健指導を、月1回以上行う。 ・学期に2回以上保健指導の内容を保護者に向けて発信し家庭と連携する。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
○保護者アンケート ①「子どもはいろいろな遊びに興味や関心をもち、進んで遊ぶようになりましたか」の項目で肯定的な回答をする割合が88%で目標を上回った。 ②「子どもは基本的な生活習慣が身に付いてきていますか」の項目で肯定的な回答をする割合が95%で目標を上回った。 「幼稚園は子どもの実態に応じた保健指導を実施している」の項目で肯定的な回答をする割合が97%で目標を上回った。
取組内容① ・就学前教育カリキュラムを活用しながら、子どもが主体的に遊んでいる姿を記録し、子どもの心の動きや、教師の教育的意図をもった働きかけなどについての検討会を1学期に2回行った。年齢ごとの発達の違いや、それにともなった働きかけの違いなどが見えてきて、自身の保育を振り返る時間となった。 ・主体的に遊ぶ子どもを育てるために、職員で声を掛け合って登園後すぐに好きな遊びに取り組みする体制を作り、存分に遊びこめる時間を十分に確保した。その中で、一人一人に丁寧に関わり、遊びの様子を教職員同士で毎日振り返り、環境の再構成をした。積み重ねること

で、自分から好きな遊びを見つけて遊ぶ姿が見られた。

- ・クラスごとに遊びの振り返りを行った。自分の気づいたことや頑張っていることを認めてもらったり、友達の遊びに興味をもったりすることで、刺激を受け、意欲的に遊びに取り組む姿が見られた。
- ・日々の保育案に、遊びの中で友達と関わり、刺激を受けている姿や協同性の芽生えにつながる姿を記録するようにした。日々記録することで、変容に気づき、教師の教育的意図をもった働きかけを考えることにつながった。
- ・6月に教育センター教育指導員の指導要請を受け、全クラスが関わって遊ぶ総合保育の研究保育を実施した。園全体の環境の見直しや子どもの見方、協同性についての考え方などを共通理解した。
- ・子どもたちが主体的に遊ぶ姿を、教職員全員で見合い、子どもの心の動きや、友達との関わりの様子などを話し合う園内研究保育を1学期に1回、3学期に2回行った。子どもの姿をじっくりと見取り、いろいろな意見を出し合うことで、多面的に子どもの姿を捉え、働きかけを考えることができた。
- ・毎月末に保育室降園を実施し、保護者に子どもたちの姿をポートフォリオで話す機会をもった。写真を見ながら子どもの姿と照らし合わせて就学前教育カリキュラムに基づいた教師の働きかけや保育のねらい、子どもの姿などを具体的に伝えることで子供の成長を感じられたり、保育のねらいや教師の意図を理解してもらえたりして、回を重ねるごとに熱心に興味をもって見てくれるようになった

#### 取組内容②

- ・毎月の保健指導では基本的な生活習慣が身に付き、丈夫な身体づくりができる保健指導を意識して行った。
- 4月…早寝早起き朝ごはんの話をし、睡眠や朝ごはんの大切さを指導した。
- 5月…うんちの種類・食べ物がうんちになるまでの仕組みについて指導した。
- 6月…歯について、特に噛むことで体にどんなよい影響があるのか話した。  
また、外部講師に来てもらい歯の磨き方の指導をしてもらった。
- 7月…ジュースに含まれる砂糖の量について指導した。1日に摂取してもいい砂糖の量に比べ、ジュースに含まれる砂糖はかなり多いことも話した。
- 9月…幼稚園で多いけがや、予防できるけが、けがの手当てについての指導した。
- 10月…目の愛護デーを機に目の体操の指導をし、目を大切にするように話した。
- 11月…免疫について指導した。寝ている間にみんなの体の中にはスーパーマンがパトロールしてくれていて、早く寝て、好き嫌いをせずに食べ、外で元気に遊ぶとスーパーマンが大きくなってウイルスをやっつけてくれるんだよという内容の話をした。
- 12月…いろいろな気持ちの話をした。人の気持ちは目には見えないけど、どうしてみんなは人の気持ちがわかるのか考え、いろんな場面(友達とぶつかったときなど)を例に出し、どんな言葉をかけると相手を思いやることができるのか、園児一人ひとりが考えることができた。
- 1月…くしゃみ、咳で飛沫はどれくらい飛ぶのかのを指導した。そのうえで、友だちに風邪などをうつさないために一人ひとりができる飛沫予防の方法を考え、日常生活で活かせるように話した。
- 2月…「口呼吸・鼻呼吸」の話をした。口呼吸を鼻呼吸に変えるにはあいうべ体操を行うのがよいことや、鼻呼吸のよいところは何かを知らせた。
- 3月…1年間を振り返って確認した。



- ・1 学期は保健指導の内容を保健だよりや HP にのせたり、終業式の保護者会で保健指導の際に使用した教材を張り出したりして、指導内容の説明を行った。  
また、租借力の低下、仕上げ磨きについても話した。  
夏休みに行った歯磨きカレンダーの結果をもとに個別に保護者に声掛けを行い、家庭と連携して丈夫な身体づくりに取り組んだ。
- ・2 学期は12月の保健だよりには保健指導の内容を掲載し終業式で使用した教材を張り出した。
- ・3 学期は3月の保健だより、終業式に保護者に向けて保健指導の内容を発信する。

#### 次年度への改善点

##### 取組内容①

- ・引き続き就学前教育カリキュラムを活用しながら、保護者啓発に努める。
- ・園内研究保育を早めに実施し、教師の教育的意図をもった働きかけについて話し合う機会をもつ。

##### 取組内容②

- ・引き続き子どもの実態や発達段階に応じた保健指導ができるように工夫していく。
- ・掲示や個別の声掛けを行い子どもの行動変容に直結する楽しい取り組みを行っていく。

## 大阪市立桜宮幼稚園 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b> <b>幼稚園の年度目標</b> ①令和 5 年度の保護者アンケートの次の各項目において肯定的な回答をする割合を 75%以上にする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもは絵本やおはなしに親しむようになりましたか」</li> <li>・「幼稚園は絵本やおはなしに親しむ環境や指導方法を工夫していますか」</li> </ul>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 8 生涯学習の支援】 子どもたちがいろいろなおはなしに親しめるような環境や指導方法を工夫する。 指標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本貸し出しを月に 2 回以上行い、絵本カードを活用しながら、いろいろなおはなしに親しめるようにする。</li> <li>・保護者と子どもと一緒に絵本を楽しむ「おはなしタイム」を学期に 1 回以上行う。</li> </ul>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
○保護者アンケート ①「子どもは絵本やおはなしに親しむようになりましたか」「幼稚園は絵本やおはなしに親しむ環境や指導方法を工夫していますか」の項目で肯定的な回答をする割合が 96%、98%で目標を上回った。 取組内容① <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本貸し出しを、月 2 回以上行った。貸し出し時の絵本カードに子どもの感想や保護者の一言を書く「ひとことメモ」の欄をつくり、活用してもらえるように、園だよりに抜粋して掲載したり、教師もコメントを返したりした。クラスの友達はどうな絵本が好きなのか、どんな思いになったのか、どのように家庭で楽しんだのかなどを共有することにつながった。</li> <li>・絵本貸し出しの時には、絵本が間違っていて収納されていないか、上下が逆になっていないかなど子どもたちと点検する事で、より絵本を大切に感じるようになった。</li> <li>・季節や子どもたちの興味や関心に合わせて絵本を見やすいように置いたり、新しい絵本を購入したら子どもたちに知らせたりして、絵本に興味をもち、自ら手に取りたいと思えるような環境を工夫した。</li> <li>・年間を通して親子で絵本読み聞かせ「おはなしタイム」を 7 回行った。保護者と一緒に絵本を選び、膝の上に座って暖かい雰囲気の中で読んでもらうことで、親子で絵本について話しながら、親しみ触れ合える機会となった。保護者が参加出来ない子どもも他の保護者が関わってくださり、微笑ましい姿が見られた。</li> <li>・5 歳児は、園庭にいたツマグロヒョウモンの幼虫を見つけて、「トゲトゲやけど、触ってい</li> </ul>

いんかな？」と考え、教師と一緒に図鑑を用いて調べる姿が見られた。また、発表会の劇遊びのライオンキングの話の繰り返し見て楽しむ姿があった。

4歳児は、栽培を通して、野菜の栽培時期など知りたいことを図鑑で調べたり、飼育しているカブトムシについての本を見てカブトムシの成長と比べて照らし合わせたりする姿があった。また、発表会の劇遊びに出てくる動物が出てくる絵本にも興味を示していた。

3歳児はチョウの飼育を通して、チョウが出てくる絵本を繰り返し見て楽しんだ。実体験を通して知りたい、見てみたいと意欲をもって絵本や図鑑を見る姿があった。また、発表会の劇遊びで遊んだどうぞのいすの絵本を繰り返し読むことを楽しみ、絵本に出てくる動物になりきって繰り返し遊ぶ姿があった。

- ・1学期に図書館ボランティアの読み聞かせに来てもらい、いろいろな絵本や紙芝居、おはなしに親しむ機会となった。
- 2学期には、区役所から絵本の読み聞かせに来てもらった。
- 3学期は地域主催の人形劇（紙風船）の会に親子で参加できるようにし、お話や絵本に興味をもつ機会となった。
- ・寄贈していただいた新刊絵本が届いたので、絵本コーナーの見直しと整備した。

#### 次年度への改善点

- ・引き続き、おはなしタイムや、読み聞かせを継続し、おはなしに親しむ機会をつくっていく。
- ・絵本コーナーが狭いのでお話タイムなどゆったりと絵本に親しめる環境整備を行う。

## 令和 5 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立桜宮幼稚園 学校協議会

## 1 総括についての評価

- ・保護者アンケートの結果ではすべての項目で年度目標を上回る結果を得ることができ幼稚園の頑張りが伺える。
- ・11 月の 100 周年記念事業は大変子どもたちがよく頑張り和やかに地域・保護者も一緒にお祝いすることができた。
- ・年度当初に新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことで、行事がほぼコロナ禍前に戻り、子どもたちが安全安心に生活し、学びや協同性につながるような遊びや行事を小学校、地域との連携も含め、前向きに取り組んでいた。

## 2 年度目標ごとの評価

## 年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- ①令和 5 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を 75%以上にする。
- ・「幼稚園は子どもが園内で安全に過ごせる環境や援助の在り方を工夫している」
- ②令和 5 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を 75%以上にする。
- ・「幼稚園はお互いの良さを認め合える保育をしている」
  - ・「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」
- 一人一人違う子供に、丁寧に寄り添って個々に合った保育をしているので、子供たちが自己肯定感を養い保護者アンケート各項目において、高いアンケート結果となっているのがわかる
- 津波の避難訓練を実施し、教職員全員初が初めて（コロナ禍だったので）小学校の 3 階に避難することができた。できることを模索しながら引き続き地域とも連携した訓練にも取り組んでいきたい。

## 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①令和 5 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を 75%以上にする。
- ・「子どもはいろいろな遊びに興味や関心をもち、進んで遊ぶようになりましたか」
- ②令和 5 年度末の保護者アンケートの次の項目において、肯定的な回答をする割合を 75%以上にする。
- ・「子どもは基本的生活習慣を身に付けてきていますか」
  - ・「幼稚園は子どもの実態に応じた保健指導を実施している」
- 教師が様々な環境を計画的に整え、主体的に楽しく過ごせるように配慮したことが伺える。
- 保健指導の内容を見ると、大人でも聞きたいようなものが多い。十分に頑張りが認められるので引き続きいろいろな指導を子供の実態にあわせて実施してほしい。
- 人と関わる機会が増え、そのことによって公立幼稚園の子供の素直で優しい育ちがあると感じる。今後も地域や学校との連携を大切にしていってほしい。

## 年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

## 学校園の年度目標

- ①令和 5 年度末の保護者アンケートの次の各項目において肯定的な回答をする割合を 75%以上にする。
- ・「子どもは絵本やおはなしに親しむようになりましたか」
  - ・「幼稚園は絵本やおはなしに親しむ環境や指導方法を工夫している」
- 生活発表会の取り組みの様子を聞き、絵本を繰り返し読んで親しみながら劇遊びを繰り返し子どもが考えて話を進める様子がよく分かった。工夫しながら劇を完成させていく体験は素晴らしい。このような絵本の取り組みを今後も大切にしていきたい。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- 今後も子どもたちが安全に過ごせるように努めてほしい。
- 園児は幼稚園生活を過ごす中で、多様な人と関わって成長している。園児の減少が進まないよう、そのような良さを残して園運営を進めてほしい